

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番 13	福山市立大成館中学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月1日

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価指標は数値だけでなく、子どもの実態でも評価したほうがよい。 ICT教育に向けて、先生方は大変だろうが前に向けて進められるよう頑張してほしい。 長期欠席生徒減少に向け、ICTも含め個に合わせた指導を充実させてほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査では、多くの学校が全国平均を下回っており学力の定着に課題がある。 同調査の「意識調査」ではほとんどの項目で全国平均を上回っている。「わかる」と「できる」の認知の差が大きい。 素直な子どもが多いが、表現力など本当の意味での自己肯定感が弱い。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を身につけ、自ら進路を切り開く子ども 自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども 「主体的な学び」の授業づくりに取組み、学力の向上を図る。 「自己表現」「あいさつ」に取組み、自己肯定感の向上を図る。 「自分で選び・決める活動」に取組み、自己形成力の向上を図る。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III 自校

<p>ミッション</p> <p>生徒の『自主・自律』を目指し、人格の発達や人間性を育むとともに、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む教育内容を創造することで、郷土に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる生徒を育成する。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p>	<p>【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を大切にしながら、自ら考え学び続ける意欲的な生徒 目標を持って主体的に活動し、粘り強く自らを成長させる生徒 豊かな心を持ち、地域から応援される生徒 歌声を中心とした『大中文化』を発展継承させながら校区のリーダーとしての自覚と行動力を持つ生徒
<p>学校教育目標</p> <p>心豊かに自立・貢献・感謝する生徒の育成</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>「自ら考え学ぶ授業」の創造 ～ICT活用を切り口に学力向上へつなげる対話的で深い学びのある授業～</p> <p>国語・社会・数学・理科・英語</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <p>○生徒は本校の歌声を含む「大中文化」に誇りを持ち、文化を継承しながら一人ひとりが主役となれる学校を主体的につくろうとしている。</p> <p>●自分の考えが相手にうまく伝わるよう、根拠を持って文章を作成することや相手に論理的に説明することに課題がある。</p> <p><授業></p> <p>○タブレットなどICTの活用を切り口にしながら、生徒が主体的に学びに向かう姿勢を向上させようとする授業が増えている。</p> <p>●生徒同士が相手の考えや意見を聞きながら、思考・判断・表現を深めたり広げたりする活動が十分ではない。</p>	<p>めざす授業の姿</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>基礎学力定着を大切にしながら、「わかる」から「できる」へ、生徒が今まで学んだ知識や技能を活かして、家庭学習へとつなげていけるよう取り組んでいる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>課題解決に向け、生徒が自分の考えを、相手に分かりやすいように根拠を持って文章を作成することや相手に論理的に説明する機会や手立てを工夫している。</p> <p>【主体的に学ぶ力】</p> <p>生徒一人ひとりの知的好奇心を引き出し、生徒が自ら課題解決していこうとする意欲を持つような教材が提供できている。</p> <p>【自己形成力】</p> <p>学習過程における成長を評価するとともに、生徒が自分の強みや弱みを分析しながら次の学習につなげることができるよう取り組んでいる。</p>

福山市立大成館中学校

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
1	「主体的な学 び」の授業づ くりを進め て、学ぶ意欲 と学力を向上 させる	★	新 規	「思考力・判断 力・表現力」の向 上に重点を置い て具体的な場面 を設定する	生徒が自分の考 えを相手に分か りやすいよう根 拠を持って文章 化する活動を計 画的に設定する	生徒アンケート 「自分の考えを まとめ文章化す る活動であきら めずに挑戦して いる」項目を 90%以上にする								
					ICT等活用しな がら、生徒が考 えを意見を交流し ながら考えを深 め合う場面を設 定する	生徒アンケート 「授業で友達と 話すなどして (ICT含む)自分 の考えを深め広 げている」項目を 90%以上にする								
1	教職員の資 質・能力を向 上させる	★	新 規	「めざす子ども 像」「めざす授業 の姿」実現に向け やりがいを持って 取り組むこと により教師力を 向上させる	1つ1つの項目 について教職員 一人一人が常に 自己分析を行い 重点化を図りな がら取り組んで いく	教職員アンケート 「“めざす子ど も像”“めざす授 業の姿”実現に向 け重点化を図り ながら取り組ん でいる」項目を 90%以上にする								
					教職員が主体性 を持って授業改 善等に挑戦する 雰囲気づくりを 行う	教職員アンケート 「仕事にやりが いを感じている」 項目を90%以上 にする								

福山市立大成館中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
1	生徒の自己肯定感を高める	★	新規	「自己表現」「あいさつ」に取り組む中で自己肯定感を向上させる	昨年度長期欠席生徒家庭への継続的な取組を行う	新たな長期欠席生数前年度比を50%以下にする								
					“めざす子ども像”を意識しながらお互いを認め合える集団にする	生徒アンケート「クラスや友人の中で自分の考えは認められている」項目を85%以上にする								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。